

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

中高層建築物火災から 人命救助まで幅広い対応が可能に！



はしご付消防自動車、更新配備！



△はしごを伸べている様子

甲賀広域行政組合消防本部では、11月2日（金）甲賀広域行政組合湖南中央消防署（湖南市）に配備されている、はしご付消防自動車を更新しました。

更新前のはしご車は、平成5年に配備されてから、25年にわたって甲賀市・湖南市の安心・安全のために活躍してきました。

今回、新たに配備された車両は、はしご車専用シャシを採用することで、はしご先端に取り付けられたバスケットの耐荷重が最大400kg、バスケット放水銃からの放水量が最大2000ℓと、更新前の車両の倍以上の性能を持ち、大規模火災や中高層建築物での火災などで、一度に多くの人を救助できるとともに、高所からの有効な放水が可能になりました。さらに、最大水平到達距離も約3m伸びたため、水難事故や崖下への転落事故などの現場において、水平方向への有効な救助手段として、火災だけではなく、多様な災害に対応できるようになりました。



より安全に

さらに迅速・確実に



上級救命講習を開催しました！



甲賀広域行政組合甲南消防署（甲賀市）では、10月14日（日）甲賀市立かふか生涯学習館において、上級救命講習を開催しました。

この上級救命講習とは、普通救命講習から発展し、小児・乳児への救命処置や応急手当をはじめ、外傷救護法、熱中症・やけどなどへの対応、搬送方法などが加わった、実技と筆記試験を伴う8時間の講習で、今回は管内の事業所で組織し、防火思想の高揚・普及に寄与されている甲賀広域防火保安協会第3支部にも協賛いただき、大久保女性防火クラブや地域防災推進委員の方々を迎え、盛大に開催することができました。

参加した女性防火クラブの方々は、地域の幼・保育園の幼年消防クラブ事業にも参加し、園児たちとふれあう機会があることから、小児・乳児への救命処置や応急手当への関心は高く、終始、和やかな雰囲気でありながらも真剣に取り組む姿が見受けられました。災害時に備え、幅広い範囲での救命処置を学ぶ上級救命講習は、女性防火クラブのみならずの知識・技術を向上する有意義な時間となりました。



地域の枠を越えた

連携強化

のために

甲賀広域行政組合消防本部では、11月9日から10日にかけて福井県内で実施された、平成30年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加しました。

この訓練は、近畿圏内の緊急消防援助隊の出勤体制、各部隊の活動技術の向上に加え、自衛隊やDMATなどの関係機関との連携活動を検証するとともに、被災市町を想定した開催地の受援体制の向上を図ることを目的に、毎年実施されるものです。

今回は、福井県嶺北地方を震源とする大規模地震が発生したという想定で訓練が実施され、本消防本部からは1隊5名が出動し、斜面の崩落と倒壊建物を想定した現場からの救出訓練に参加しました。

消防は、この緊急消防援助隊をはじめ、有事の際の相互応援体制を整えており、各種合同訓練をとおして、実災害時に円滑な連携活動が行えるよう努めています。



△訓練の様子

Information
いろいろ情報板

〈12月10日から31日まで〉

年末

防火運動を
実施しています！

甲賀広域行政組合消防本部・消防署では、12月10日から31日までの間、年末防火運動を実施しています。

本格的な冬の到来により暖房器具などの火気を使用する機会が多くなるこの時期は、年末の慌ただしさも重なり、火災の発生が懸念されます。みなさんも大掃除の際には、コンロやコンセント付近など、火災の原因となり得る箇所を確認いただくとともに、火の元には十分注意し、火災の発生を未然に防ぎましょう。

この運動に関する消防からのお知らせについては、甲賀広域行政組合のホームページのコンテンツをご覧ください。

平成30年甲賀消防管内 災害発生状況

(11月末現在)

火災	48件
救急	5,390件
救助	82件
その他	771件